

2023.8.8
国際交流STEAMシンポジウムIN奄美

障がいと共に生きる優しいまちづくり ～「地域で暮らす」を当たり前～



社会福祉法人 三環舎
理事長 向井 扶美

障害のある子どもとの出会い(1993年親の声より)

- ①発見が遅く、情報が少ない
- ②どこに相談していいかわからない
- ③専門病院が遠く、母子入院や通院のために大きな負担があり、継続的医療が受けにくい
- ④乳幼児期に継続的に療育を受ける場がない
- ⑤親の勉強の場が必要(子どもへの対応・療育等)
- ⑥小学生になったら鹿児島県の施設に入所
- ⑦各機関の連携が十分とられていない
- ⑧生活・養護面で援助してくれるボランティアが必要
- ⑧周囲の偏見等

親の願いをネットワークにのせて

1993年奄美療育研究会を設立

障害のある子どもやその家族を支援するネットワーク“ゆるやかなつながり”

- ・ 保護者、本人、医療、保健、福祉、教育、行政、ボランティアなど 220名
- ・ 研修会、遊びの会、療育キャンプ、イベント、就学児親の会、会員をつなぐあまみ療育だより、のぞみ園の支援、年末お助け隊

1994年 早期発見のための小児発達外来

1996年 心身障害児通園事業のぞみ園開設

1999年 肢体不自由学級開設(2小学校、1中学校)

2001年 大島養護学校への肢体不自由受け入れ

- ・ 中学校へのエレベーター設置
- ・ 療育ガイドブック作成
- ・ 発達障害への取り組み



第一回 のぞみ園卒園記念会 1997(49)年3月

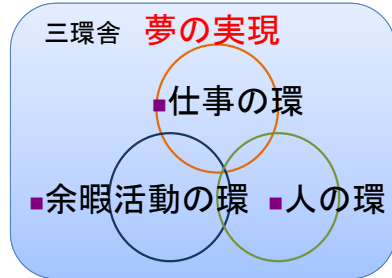


三環舎の願い

ひとは「生まれ育ったこのまちで育ち、学び、働きたい」という願いを持っています。

私たちは、これまで培ったネットワークを生かし、チャレンジの仕事の環、余暇活動の環、将来の夢を実現するための人の環をつくっていきたく考えています。

⇒障害のある人の
社会参加と自立を
目指す



社会福祉法人 三環舎



- 2007年4月
障害福祉サービス事業所 あしたば園
- 2011年8月
あまみ障害者就業・生活支援センター
- 2013年4月
指定特定相談支援事業所 晴ればれ
→チャレンジサポート奄美
- 2015年4月
障害福祉サービス事業所 夢来夢来



夢来夢来



特性を生かす～得意なこと～



特性を生かす～得意なこと～

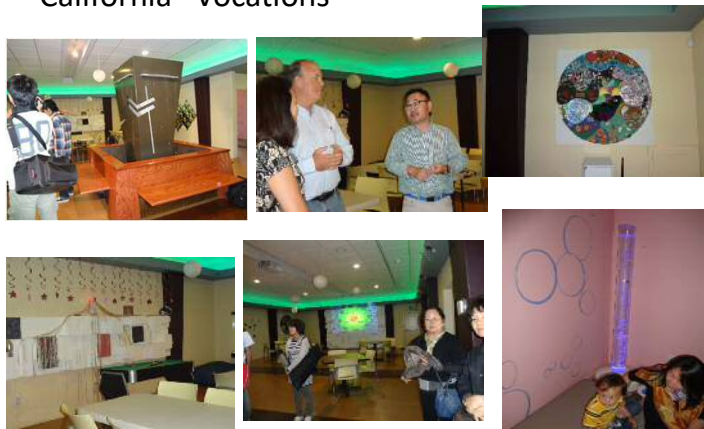


2013年カルフォルニア大チコ校で 「屋嘉比寛絵画展」



Multi-Sensory Environmentsとの出会い

- California Vocations



今後の課題

設立から15年が経過し、新たな課題が見え始めている。

- ・障がい者の親が高齢化し、病気になり介護ができない。
- ・親亡き後の生活に対する不安
- ・肢体不自由の方を受け入れるグループホームがない。入所施設の待機しか選択できない。

※支援を必要とする障がい者の住まいとして、グループホームなどの少人数での居住形態へのニーズは高まっており、社会資源としての整備促進が必要

- ・ 2022年12月「グループホームあさひが丘」
- ・ 今後は、肢体不自由の方や重度の障がい者向けのグループホームが必要

最後に

誰だって加齢化し高齢の時を迎えます。

障がいの有無に関わらず、人は住み慣れた場所で・・・安心して暮らしたいと望んでいます。

親しい仲間と話しをしたり、地域の行事や活動に参加したり

自分がやりたい事を語ったり、誰かのお世話になりたいのではなく、誰かのために生きたいと思う気持ちは一緒だと思います。

一人ひとりが住み慣れた環境の中で笑顔で生活できるように相談支援の充実やサービスの構築を行い、地域というチームで取り組んで行けるといいと思います。

エグモントホイスコーレン

～ 障害者が学ぶ学校～



デンマークよりエグモントホイスコーレンの
修学旅行受け入れ(3回)

(土木、建設、観光、保健福祉、教育、英訳ボランティア、学生、行政その他実行委員35人)